

## RQ-8 トラブルシューティング



故障内容	チェック項目	ページ
・電源が入らない。	電源コードの状態はどうか？	p.3
	ヒューズは切れていないか？	p.3
・機械が動かない。	パイロットランプが点滅しているか？	p.4
	ERRORランプが点灯、点滅するか？	p.4
・バンドが接着しない。	ヒーターに熱が来ているか？	p.6
	(ヒーターの交換、掃除方法)	p.6
	接着面はどのような状態か？	p.6
・バンドが送れない。	バンドの通し方、タッチレバー位置は適正か？	p.8
	T2ダイヤルの設定値は不足していないか？	p.8
	プールボックスのバンド量は適正か？	p.8
	バンドが詰まっていないか？	p.9
	バンド(づまり) 通路の掃除方法	p.9
	バンドが飛び出さないか？	p.10
	330J(340J)が損耗、空回りしていないか？	p.11
	正転ローラーに汚れ、磨耗は無いのか？	p.11
	バンドが勢いよく送られるか？	p.11
	正転タッチ圧の調整方法	p.11
	ソレノイドのプランジャーの動きは正常か？	p.12
	機械のタイミング(原点)はあっているか？	p.12

故障内容	チェック項目	ページ
・バンドが締まらない。	T1ダイヤルの設定が不足していないか？	p.13
	逆転ローラーに汚れ、磨耗はないか？	p.13
	LS - 5は正常か？	p.13
	バンドをセットせず、正逆SWで逆転した際に タッチローラーが回転するか？	p.13
	バンドは勢いよく戻るか？	p.14
	逆転タッチ圧の調整方法	p.14
	330J、M-36が損耗、空回りしていないか？	p.14
	プールボックスのバンド量は適正か？	p.14
	テンションローラーは磨耗していないか？	p.14
	キャップボルト×1本の折損、緩みは無いのか？	p.15
	ソレノイドのプランジャーの動きは正常か？	p.15
	アーチカバーの隙間はあるか？	p.15
	機械の原点位置は合っているか？	p.15
	原点位置の調整方法	p.16
・バンドが溜まらない。	バランスバーは手で上下に軽く動くか？	p.17
	プール量の調整方法	p.17
	リールが手で軽く回るか？	p.18
	ブレーキベルトセットの交換方法	p.18
・バンドが切れない。	ブレーキベルトセットの交換方法	p.19
	バンドが切れない、バンドの端が引きちぎった ようになる？	p.19
・ベルトの交換方法	ベルトの交換方法	p.20

・電源が入らない。

**チェック項目 1**

電源コードの状態はどうか？

**点検・修理方法**

コードが断線及び、コンセントまで電気が来て  
いるか、別のコンセントにつなぎ確認します。



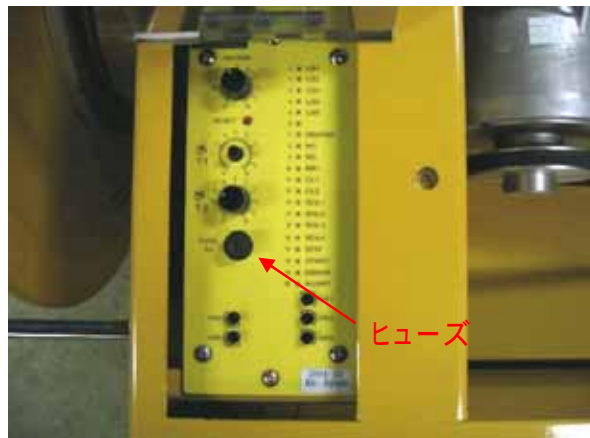
**チェック項目 2**

ヒューズは切れていないか？

**点検・修理方法**

電源をOFFにしてヒューズを確認します。

(電源ONの状態ではヒューズの脱着を行うと  
ショートする可能性があります。)



・機械が動かない。

**チェック項目1**

パイロットランプが点滅しているか？

**点検・修理方法(点滅する場合)**

電源を入れて30秒間はヒーター昇温中のため

起動しません。

それ以外で動かない場合はERROR、A - LI

MITランプの点灯を確認します。



**点検修理方法(点滅しない場合)**

停止SWが入っています。解除しても動かない

場合は、最寄の弊社営業所に連絡下さい。



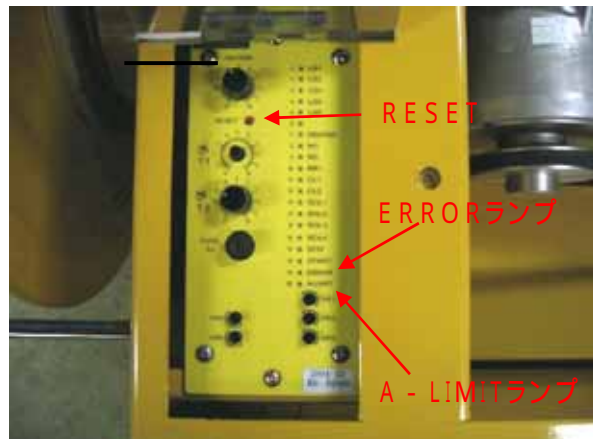
**チェック項目2**

ERRORランプが点灯・点滅するか？

**点検・修理方法(点灯の場合)**

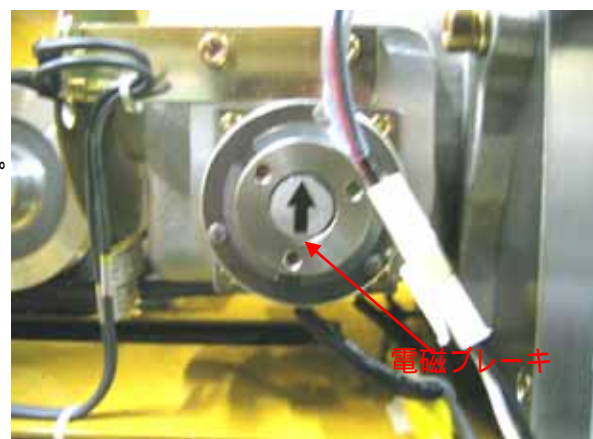
RESETを押しても再点灯する場合は、M1モ

ーターの過負荷、異常です。



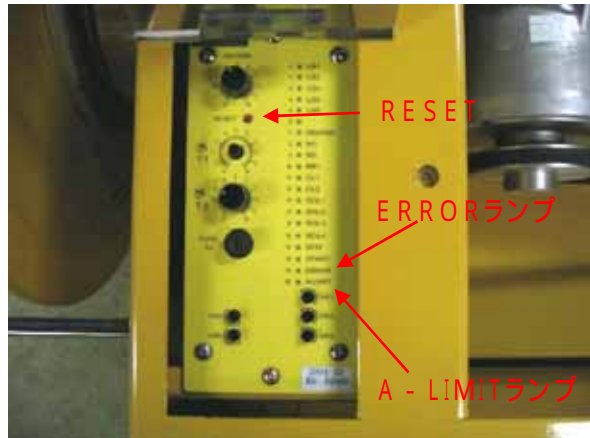
電磁ブレーキの開放が悪い場合、モーターの過負荷で点灯する場合があります。

この場合は、最寄の弊社営業所に連絡下さい。



点検・修理方法(点滅の場合)

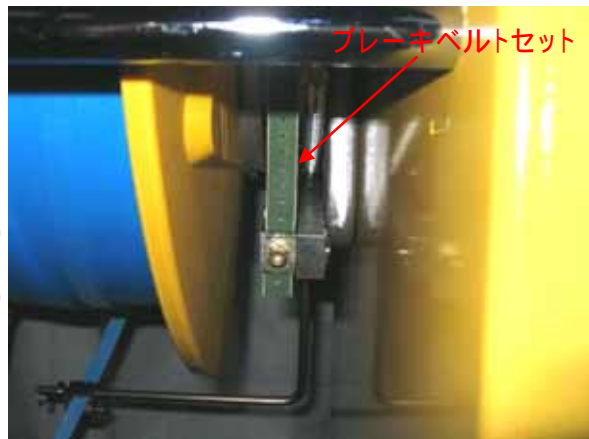
RESETを押しても再点滅する場合は、M2モーターの過負荷、異常です。



ブレーキベルトセットの不良で点灯する場合がありますので確認します。

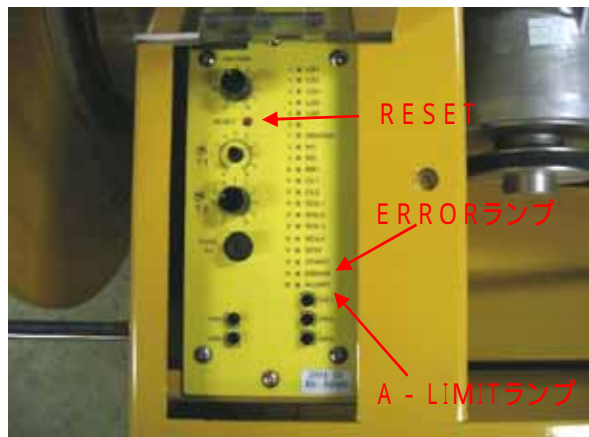
(ブレーキベルトセットの交換方法 : p.18参照)

(ブレーキベルトセットの交換方法 : p.19参照)



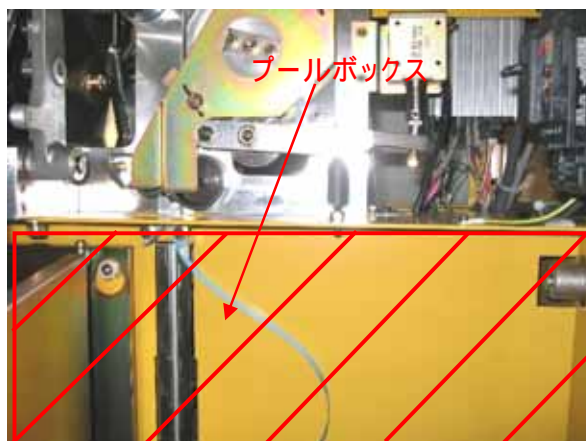
点検・修理方法(A-LIMIT点滅の場合)

バンドがなくなっています。バンドを交換し、RESETを押します。



プールボックスのバンド溜まり不良で点滅する場合もあるので、確認します。

(バンドが溜まらない: p.17 参照)



・バンドが接着しない。

### チェック項目1

ヒーターに熱が来ているか？

### 点検・修理方法

熱が来ない場合、ヒーターを交換します。

(必ず電源をOFFにして作業して下さい。)

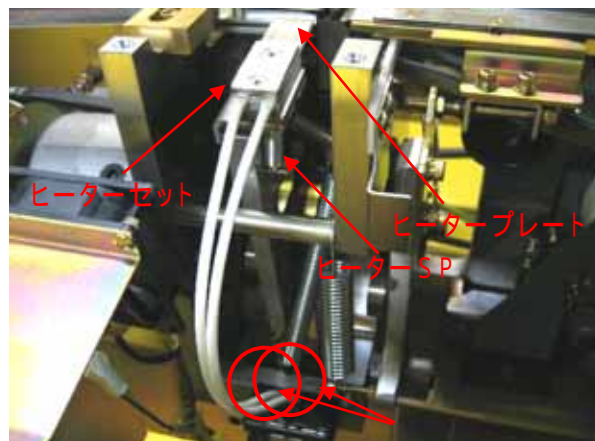
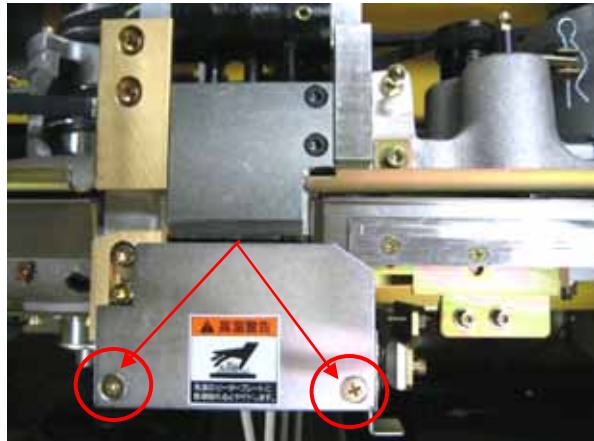
### (ヒーターの交換、掃除方法)

プラスネジ×2本を外す。

プラスネジ×2本を外す。

ヒーターSPを外す。

ヒーターセットを交換します。



### チェック項目2

接着面はどのような状態か？

**サンプル 1** :ヒーター温度が適正な例  
溶解部が白くなっています。

**サンプル 2** :ヒーター温度が低い例  
溶解部が白くならず、表面がザラつきません。

**サンプル 3** :ヒーター温度が高い例  
溶解部が白くならず、表面がザラつきます。

また、溶解部の幅が広がっています。



< 接着したバンドを剥がした図 >  
(シーリングチェックシート抜粋)

点検・修理方法(サンプル の場合)  
ヒーター温度調整ダイヤルを上げます。

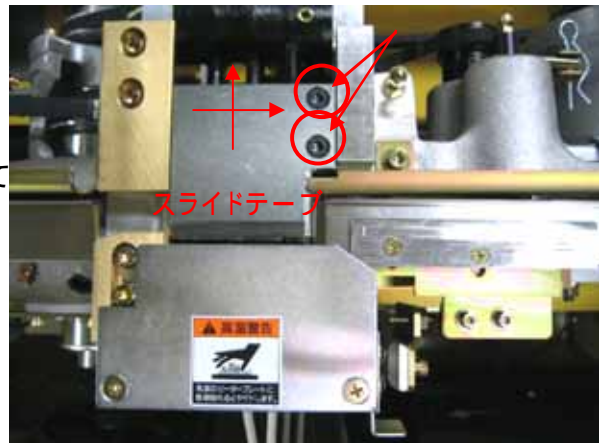
(調整後、1分程経過してからテストします。)

(温度が高すぎても接着しませんので、あまり  
大幅に回さないで下さい。)

効果がない場合、ヒータープレート上下の汚  
れを掃除します。

(ヒーターの交換、掃除方法: p6 参照)

写真中央のスライドテーブルがしっかり固定されて  
いない可能性があるので、矢印方向に押し付け  
ながら のキャップボルトを締めて下さい。



点検・修理方法(サンプル の場合)  
ヒーター温度調整ダイヤルを下げます。



・バンドが送れない。

**チェック項目 1**

バンドの通し方、タッチレバー位置は適正か？

**点検修理・方法**

正しいバンドの通し方は右図の通りです。



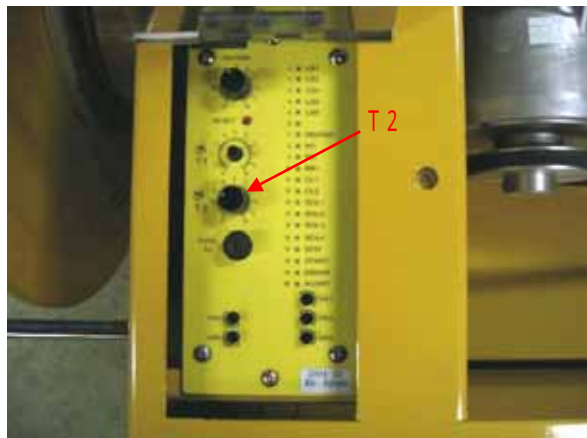
**チェック項目 2**

T2ダイヤルの設定値が不足していないか？

**点検・修理方法**

T2ダイヤルの設定値を上げて下さい。

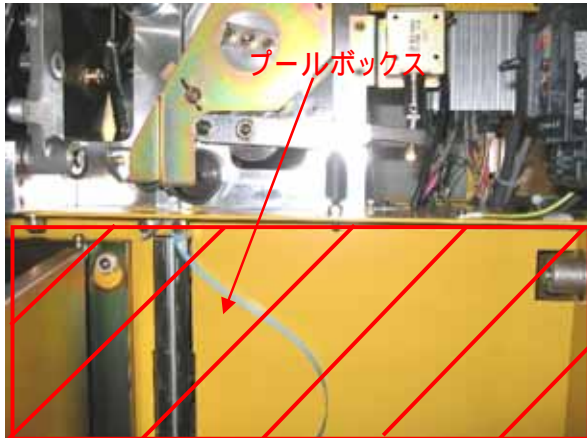
(参考)標準機W650×H500の場合、設定7前後



**チェック項目 3**

プールボックスのバンド量は適正か？

(プール量の調整方法: p.17 参照)

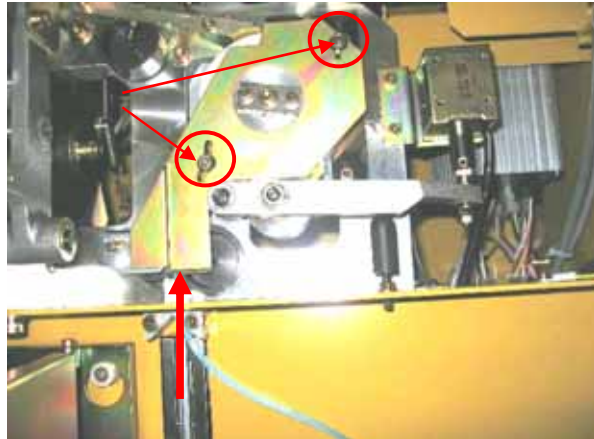


#### チェック項目4

バンドが詰まっているか？

#### 点検・修理方法

電源ONの状態ですべての停止SWを押し、手でバンドを下から送ります。詰まっている箇所を特定できれば、該当箇所を分解・掃除します。



#### (バンド(づまり)通路の掃除方法)

チョウナット×2個を外す。

フィードバンドガイドセットを外す。

プラスネジ×2本を外す。

キャップボルト×2本を外す。

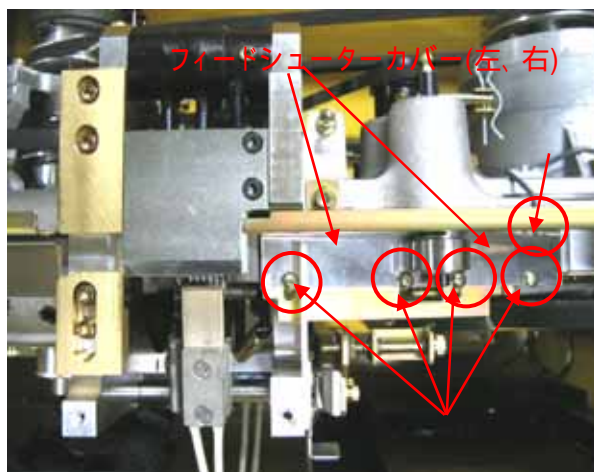
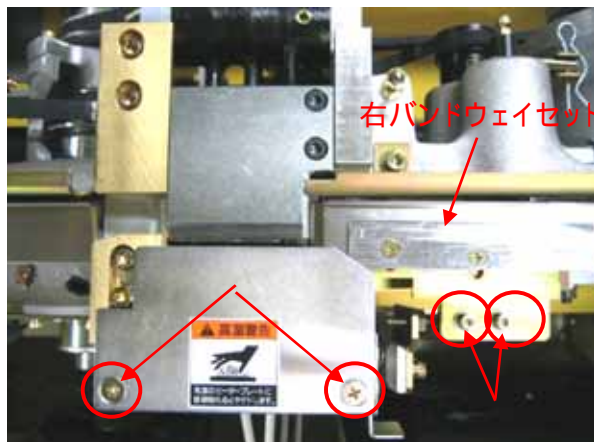
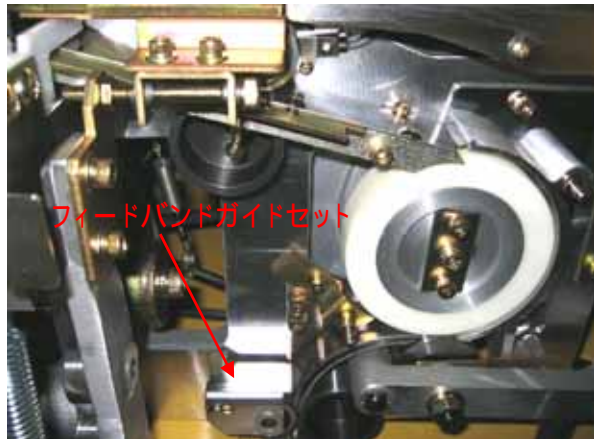
右バンドウェイセットを外す。

プラスネジ×4本を外す。

キャップボルト×1本を緩める。

フィードシューターカバー(左、右)を外す。

バンドの通路を掃除し、組みなおします。



### チェック項目5

バンドが飛び出さないか？

### 点検修理方法

バンドが飛び出す箇所を確認し、部品の破損が無いを確認します。

(比較的多い例1)

(右バンドウェイセット 位置)

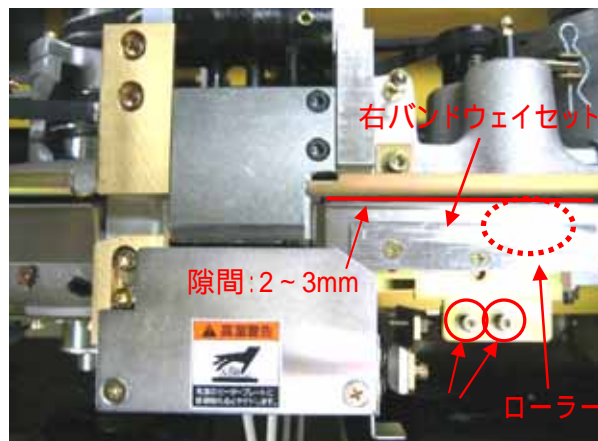
右図が正しい位置です。

上からローラーが目視できれば、異常です。

のキャップボルトを緩め、右図の位置( )

にセットし、 のキャップボルトを締めます。

隙間を2～3mm作ります。



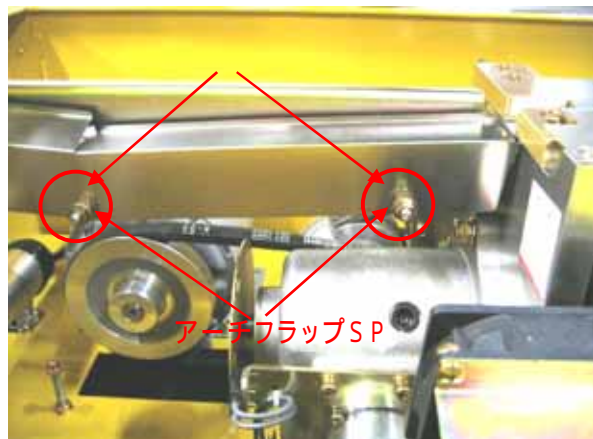
(比較的多い例2)

(バンドウェイ入口 位置)

アーチフラップSPが弱っています。

交換するか、六角ナット×4本を締め、SPとフ

ラップの隙間を詰めます。



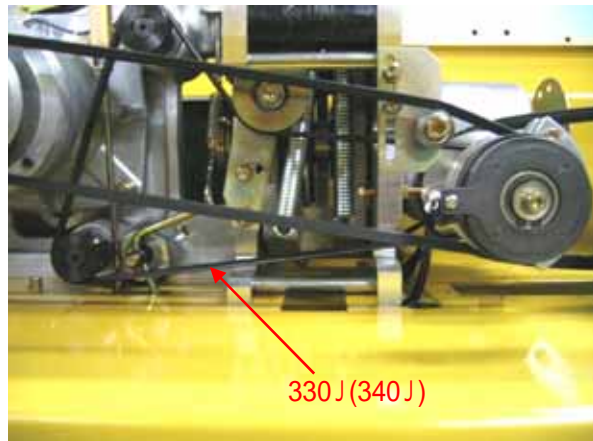
### チェック項目 6

330J(340J)が損耗、空回りしていないか？

### 点検・修理方法

330Jを交換、ベルトの張りを調整します。

(ベルトの交換方法:p.20 参照)

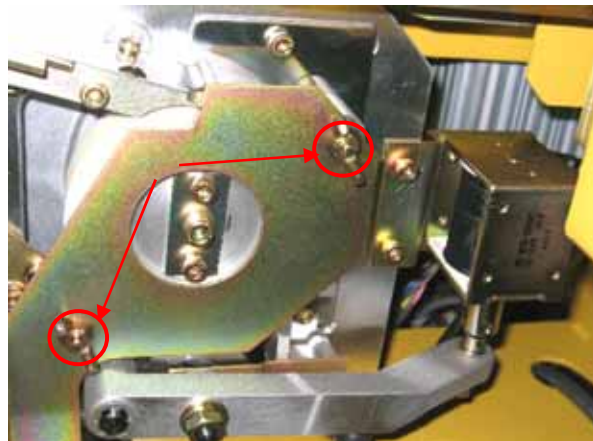


### チェック項目 7

正転ローラーに汚れ、磨耗はないか？

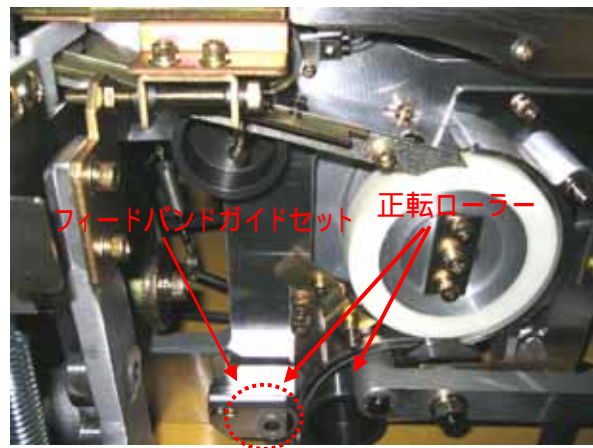
### 点検・修理方法

チョウナット×2個を外す。



フィードバンドガイドセットを外す。

掃除後、ローラーを研磨し面を平らにします。



### チェック項目 8

バンドが勢いよく送られるか？

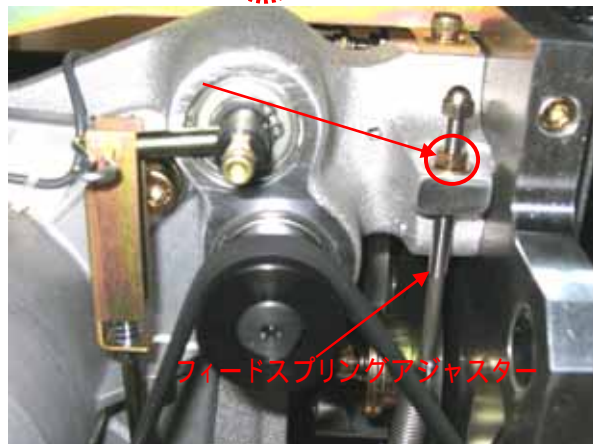
### 点検・修理方法

勢いが無い場合、正転タッチ圧を調整します。

### (正転タッチ圧の調整方法)

ロックナットを緩め、フィードスプリングアジャスターを調整(左回転で強くなります。)します。

注)微妙な調整のため一回転ごとにテストします。

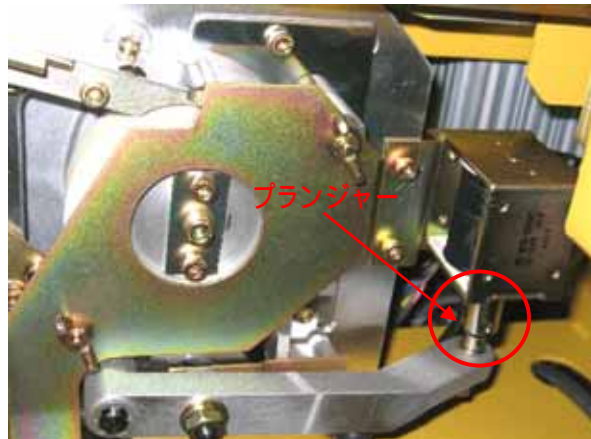
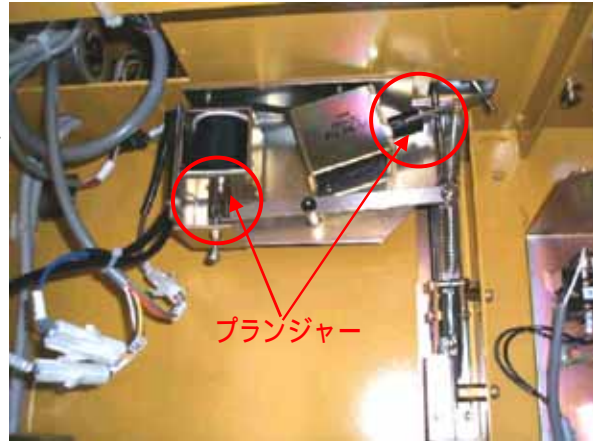


**チェック項目9**

ソレノイドのプランジャーの動きは、正常か？

**点検・修理方法**

プランジャーを手で動かして軽く動かない場合、  
分解、掃除します。



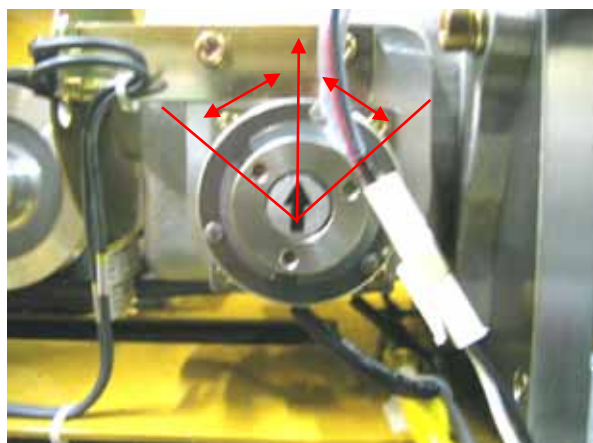
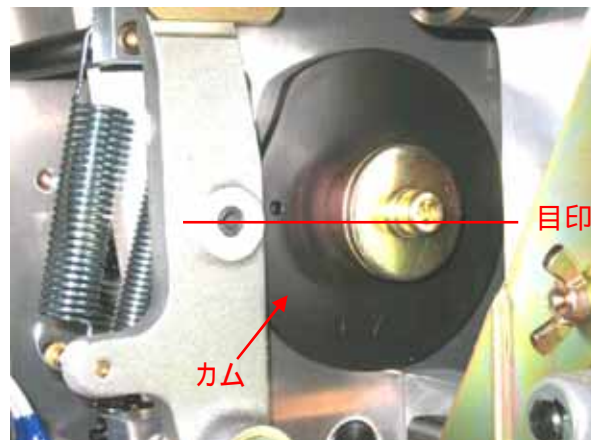
**チェック項目10**

機械の原点位置は合っているか？

**点検・修理方法**

機械が停止状態で、カムが右図の位置で、矢  
印が真上から左右45度以内の位置にない場  
合、原点位置を調整します。

(原点位置の調整方法: p.16 参照)



・バンドが締まらない。

**チェック項目1**

T1ダイヤルの設定が不足していないか。

(標準機W650×H500の場合:設定7前後)

**点検・修理方法**

ダイヤルを上げます。

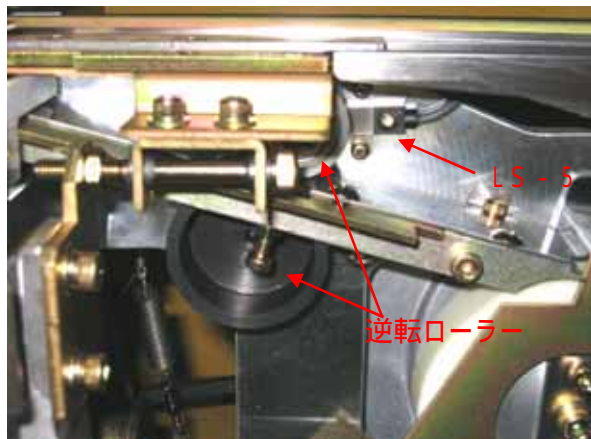


**チェック項目2**

逆転ローラーに汚れ、磨耗はないか？

**点検・修理方法**

掃除後、ローラーを研磨し面を平らにします。



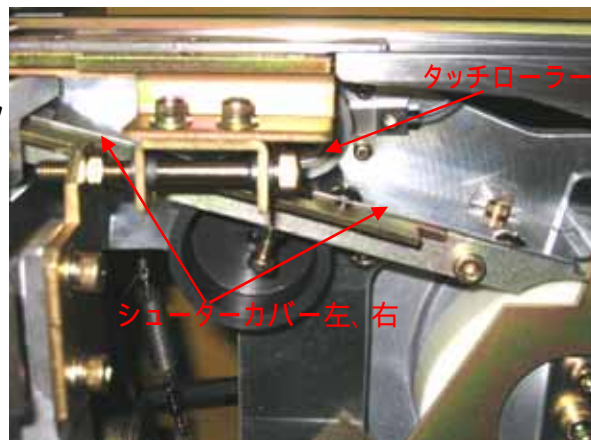
**チェック項目3**

LS - 5は正常か？

**点検・修理方法**

指でタッチローラーを回転させ、LS - 5が赤く

点滅しない場合、交換します。



**チェック項目4**

バンドをセットせず、正逆SWで逆転した際にタ

ッチローラーが回転するか？

**点検・修理方法**

回転しない場合、キャップボルトの位置が高い

か、シューターカバー左、右の取付不良です。

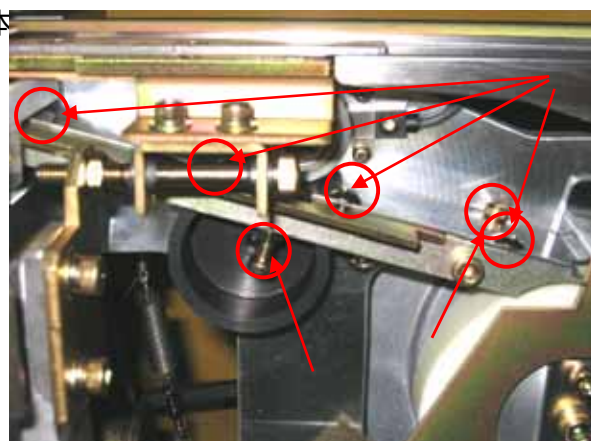
ロックナット×1個を緩めキャップボルト×1本

の高さを下げます。

プラスネジ×4本を外す。

キャップボルト×1本を緩める。

シューターカバーを左右に拡げてセットします。



### チェック項目5

バンドは勢いよく戻るか？(チェック項目4確認後)

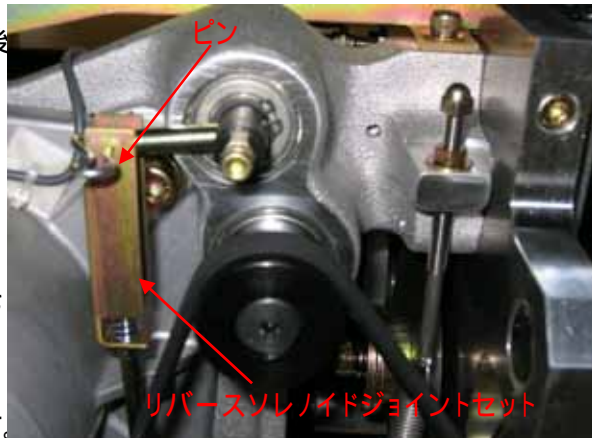
#### 点検・修理方法

勢いがない場合、逆転タッチ圧を調整します。

#### (逆転タッチ圧の調整方法)

ピンを抜き、リバースソレノイドジョイントセットを調整(右回転でタッチ圧が強く)します。

調整が微妙ですので、1回転ごとにテストします。

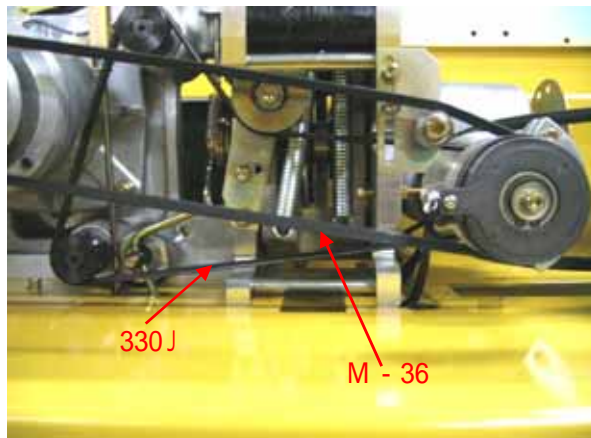


### チェック項目6

330J、M-36が損耗、空回りしていないか？

#### 点検・修理方法

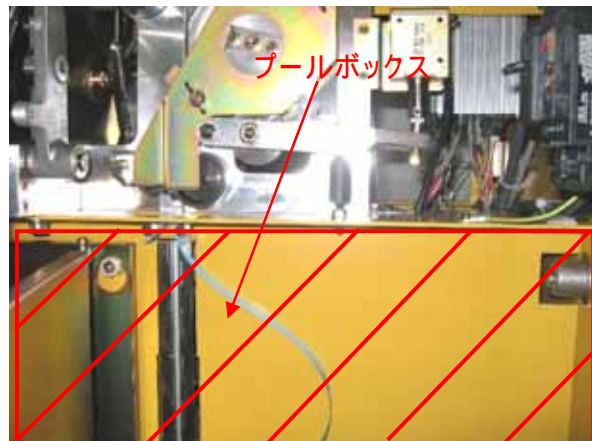
(ベルトの交換方法:p.20 参照)



### チェック項目7

プールボックスのバンド量は正常か？

(プール量の調整方法:p.17 参照)



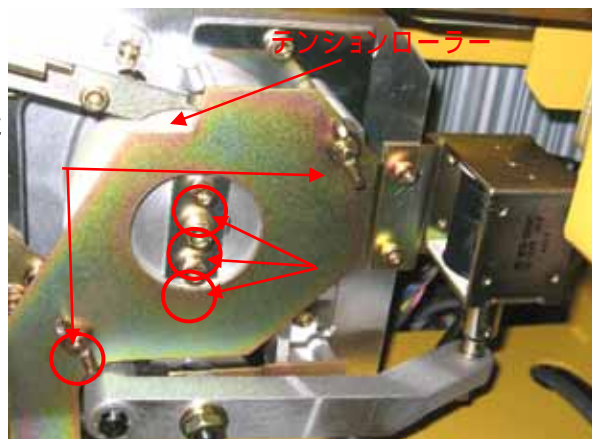
### チェック項目8

テンションローラーは磨耗していないか？

#### 点検・修理方法

指で磨耗が確認できれば、チョウナット×2本と

キャップボルト×3本を外し、交換します。

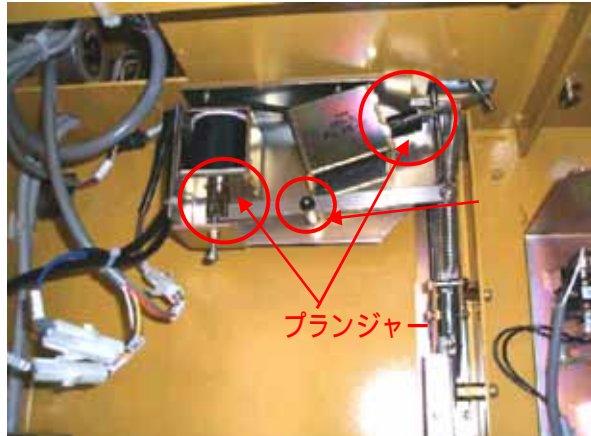


### チェック項目9

キャップボルト×1本の折損、緩みは無いかな？

#### 点検・修理方法

交換もしくは、ロックナットを締めなおします。



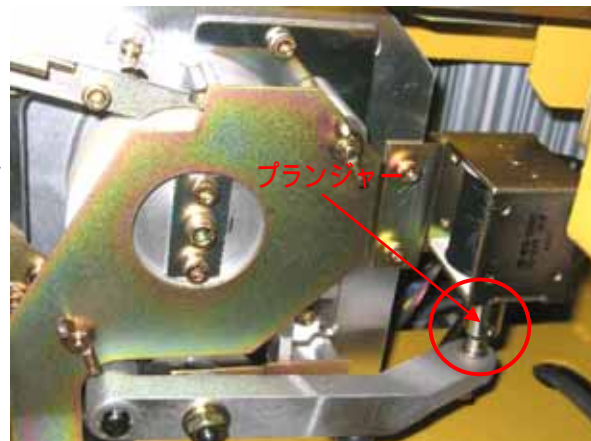
### チェック項目10

ソレノイドのプランジャーの動きは、正常かな？

#### 点検・修理方法

プランジャーを手で動かして軽く動かない場合、

分解、掃除します。

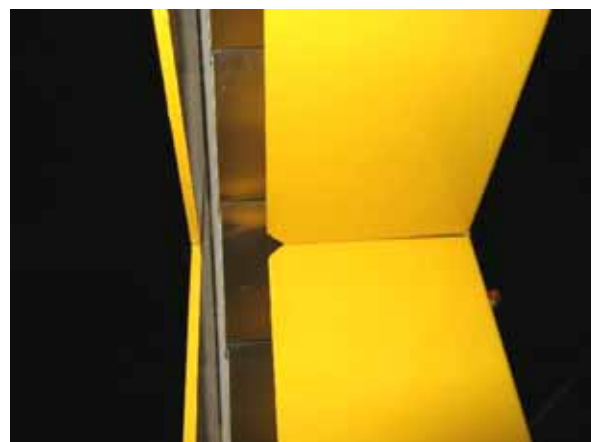


### チェック項目11

アーチカバーの隙間はあるかな？

#### 点検・修理方法

ない場合、カバーを上げて隙間を確保します。



## チェック項目12

機械の原点位置は合っているか？

### 点検・修理方法

機械が停止状態で、 の部分が右図の位置で、  
写真 のBR1矢印が真上から左右45度以内の  
位置にない場合、原点位置の調整が必要です。

原点とは正常に起動しワンサイクル終了した点

### (原点位置の調整方法)

起動SWを押し、次に機械が動作を終了して  
から停止SWを押します。(電源は切って下さい。)

写真 のタイミングプレートにマジックなどで  
LS-1の上部ラインに目印をつけて下さい。

カムが写真 の位置に来るよう、写真 の  
ベルトを矢印方向に回します。

この時にBR1矢印が頂点から左右45度以内に  
止まるようにして下さい。(頂点が好ましい)

写真 の を緩め、タイミングプレートを で  
つけた目印のところに調整し、ネジを締めて下さい。

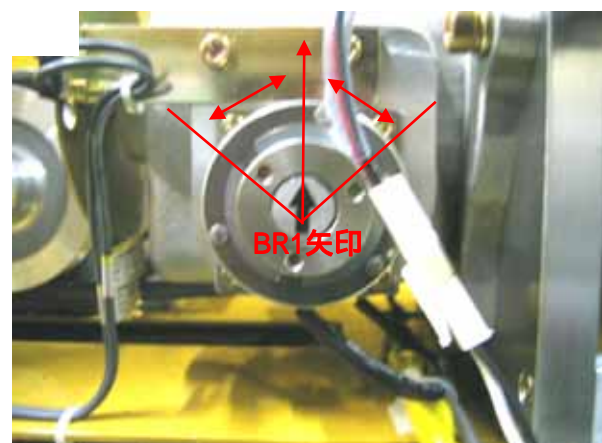
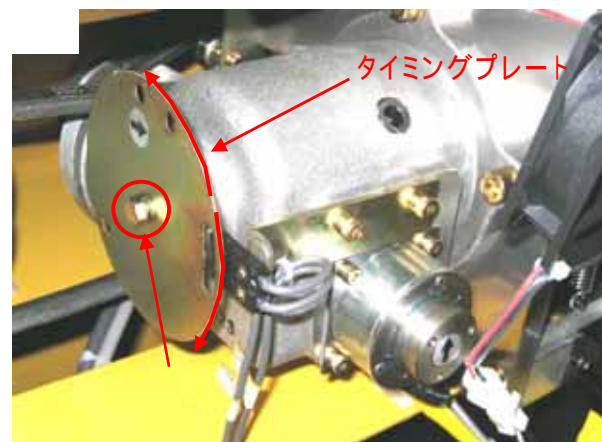
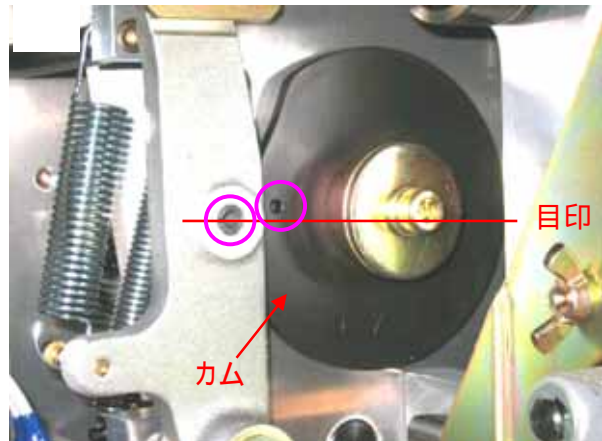
電源を入れ、何度か起動SWを押し、定位置で  
BR1矢印が停止することを確認します。

BR1矢印が12時を過ぎる場合、停止SWを押して  
タイミングプレートを 方向に回します。

BR1矢印が12時前で止まる場合、停止SWを押して  
タイミングプレートを 方向に回します。

微量でBR1矢印が大きく変わるので、  
少しずつ調整して下さい。

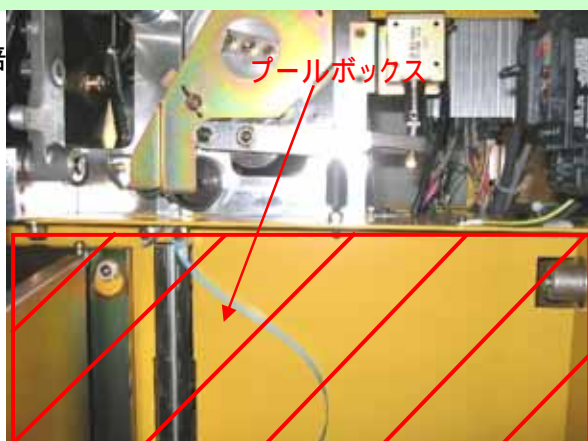
停止SW解除後、起動SWを押し、原点位置  
で停止するか確認し、終了です。



・バンドが溜まらない。

プールボックスには、通常アーチサイズの1.5倍のバンドがたまっています。

(標準機W650×H500の場合、約3.5m)



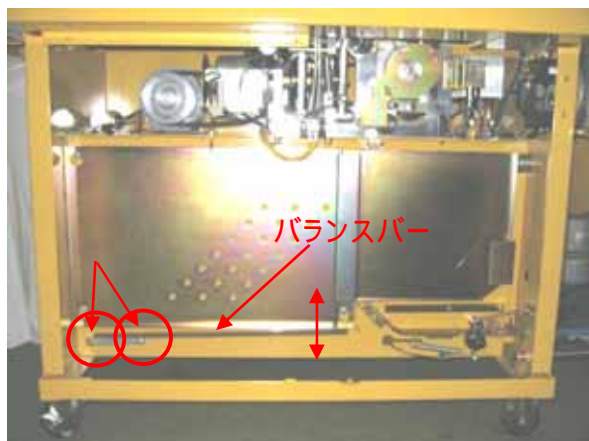
### チェック項目1

バランスバーは手で上下に軽く動くか？

### 点検・修理方法(動かない場合)

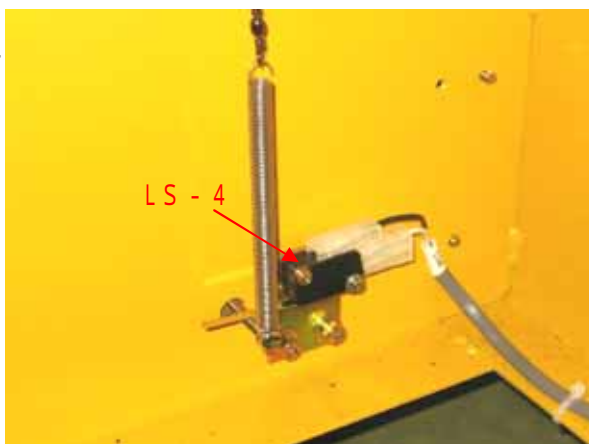
バランスバーがボディに接触しています。

注油、もしくはプラスネジ×2本を外してバランスバーを交換します。



### 点検・修理方法(動く場合 )

LS - 4を手でON、OFFし、制御基盤のLS - 4表示ランプが点滅しなければ交換します。



### (プール量の調整)

LS - 4、バランスバーを確認後、ロックナットを緩め、アジャストSPフックを調整(左回転でプール量が増加)します。

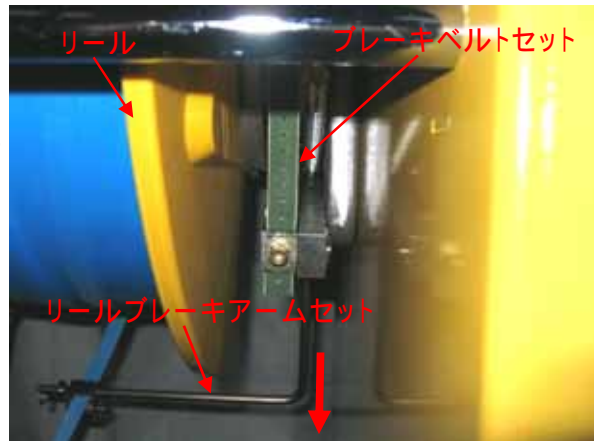


## チェック項目2

リールが手で軽く回るか？

## 点検・修理方法

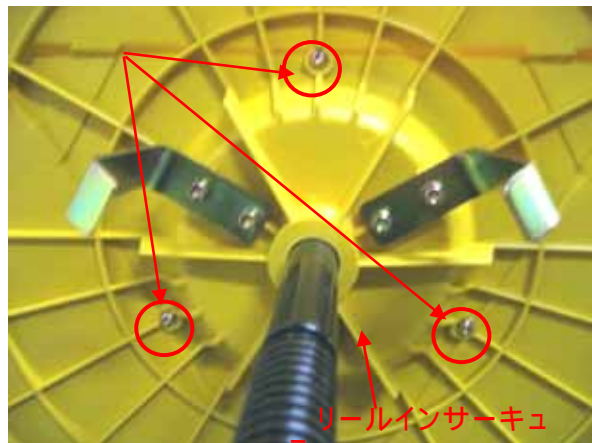
リールブレーキアームセットを下げ、リールを手で回した際、回らないのであればブレーキベルトセットを交換します。



## (ブレーキベルトセットの交換方法 )

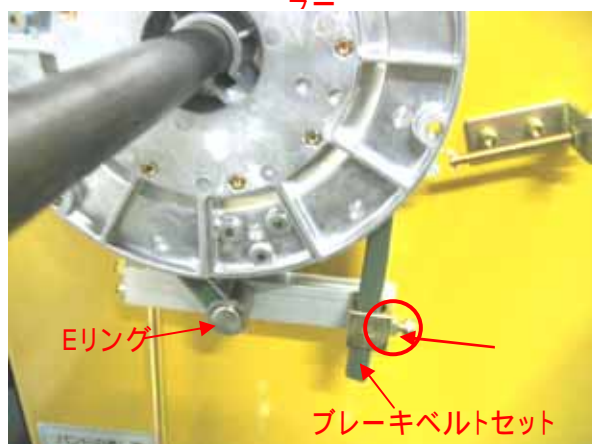
リール内側のボタンボルト×3本を外す。

リールインサーキュラーを外す。



ロックナットを緩め、キャップボルト×1本を緩める。

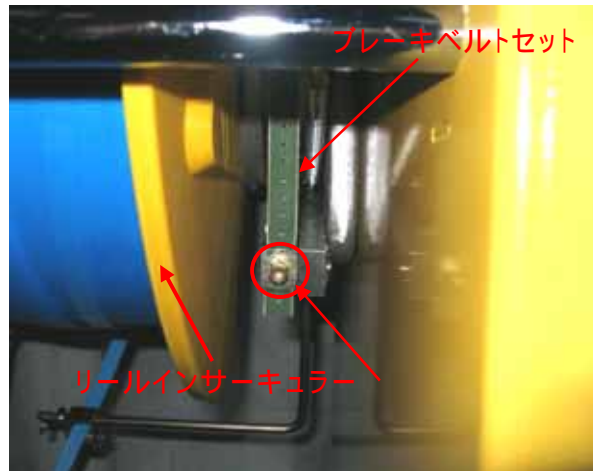
Eリングを外し、ブレーキベルトセットを交換する。



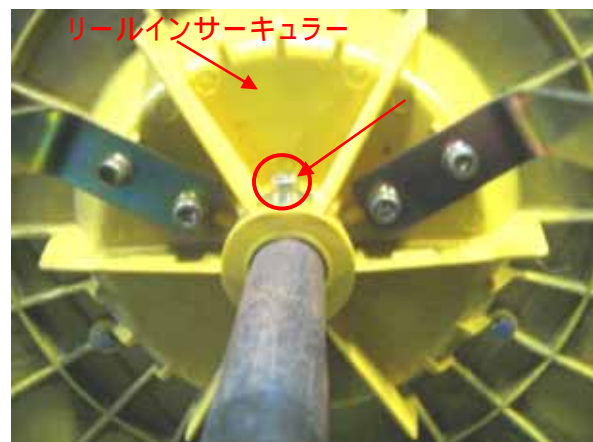
ブレーキベルトセットの端から2～3個目の穴にキャップボルトが当たるように調整し、元通りに組みます。

(ブレーキベルトセットの交換方法 )

ロックナット×1個、キャップボルト×1本を外す。



ロックナット×1個、キャップボルト×1本を外す。



リールインサーキュラーを外す。

Eリングを外し、ブレーキセットを交換する。



元通り組み、ブレーキベルトセットの端から2~3個目の穴位置にキャップボルトが当たるように調整します。

・バンドが切れない。

**チェック項目1**

バンドが切れない、バンドの端が引きちぎったようになる？

**点検・修理方法**

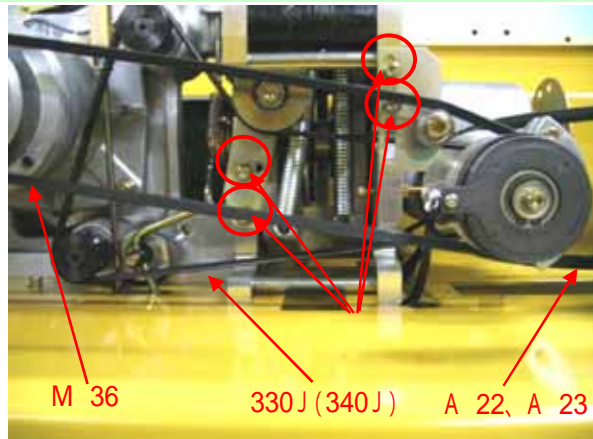
カッターの交換が必要です。最寄の営業所に連絡下さい。

## ベルトの交換方法

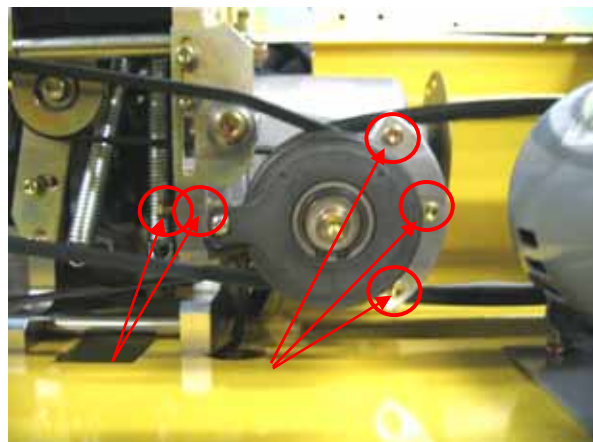
### (ベルトの交換方法)

キャップボルト×4本を緩め、ベルトの張りを緩めます。

ロックナット×1個を緩め、六角ボルト×1本を外します。



キャップボルト×3本を外し、ベルトを交換します。



元通りに組み、ベルトの張りを調整します。

( ロックナットは、六角ボルトが連動シャフトセットに当たった位置で締めます。)

A 22 60Hz、A 23 50Hz

(A - 23はモーター台のキャップボルト×4本を緩め、張りを調整します。)

